

第12回 看護師(特別支援学校)スキルアップ講習会のご案内

特別支援学校における医療的ケアの課題については、年々整備・充実してきております。これも、ひとえに関係者の方々と看護師の方々の熱意ある働きによるものです。平成29年度から「学校における高度な医療的ケア実施体制整備事業」が始まり、学校における対応は、新たな段階を迎えました。このような中で、看護師による安心・安全で信頼感のある医療的ケアの提供のためには、知識・技能等の専門性を高める質の高い研修が必要です。このような状況に鑑み、下記の研修を企画しましたので、ご参加のほど、ご案内申し上げます。

なお、今年度から、教員等の方々の参加も、申込みを可といたしました。

- 1 日時 平成30年7月26日(木)～7月27日(金)
- 2 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 501
- 3 主催 特別支援学校看護師研修推進協議会
- 4 後援 文部科学省
東京都教育委員会
全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
公益社団法人 日本看護協会
- 5 参加費 3000円 (資料代を含む)
- 6 定員 120名 対象は特別支援学校等の看護師等
- 7 内容

7月26日(木) センター棟5階 501

10:00～10:15 あいさつ 特別支援学校看護師研修推進協議会 会長 三室 秀雄
全国特別支援学校肢体不自由教育校長会 会長 田村 康二郎
全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会 会長 竹内 ふき子

10:15～11:45 講演 「医療的ケアの最前線」
豊田市こども発達センター センター長
「学校における医療的ケアの実施に関する検討会議」委員
医師 三浦 清邦

11:45～13:00 (昼食・休憩)

13:00～13:40 行政説明 「学校における高度な医療的ケア実施体制整備事業」
文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 菅野 和彦

13:45～16:10 看護師の実践報告
演題A 「授業における看護師のあり方～適時・適切なケアのために」
演題B 「第3号研修に関すること 指導看護師として研修に際しての工夫」
演題C 「自由テーマ」
演題C「呼吸器の子供が学校に通うことの意義」 愛知県立岡崎特別支援学校 看護師 川上 有香
愛知県立小牧特別支援学校 看護師 奥村 貴子
講師 兵庫県立大学看護学部 教授 勝田 仁美

【応募要領】上記の演題を選んで、申し込みの際に、ご応募下さい。発表時間は15分です。発表後、講師の方からご助言をいただきます。発表の形式・方法等は、規定がありませんが、お申し出後、事務局から連絡します。発表者の参加費は免除です。

16:10～16:30 「実践報告」講評 特別支援教育調査官 菅野 和彦
17:00～18:00 情報交換会

7月27日(金)

午前 センター棟5階 501

9:30～10:00 「医療的ケアの歴史的変遷」

NPO法人地域ケアさぼーと研究所 理事長 飯野 順子

10:00～11:20 「医療的ケアの課題は、今」

- ① 「学校における高度な医療的ケア実施体制整備事業」報告
- ② 「人工呼吸器を使用している児童生徒の保護者付添い軽減の取り組み」

大阪府立交野支援学校 学校長 藤野 洋子
大阪府立交野支援学校 看護師 丹黒 一寿子

11:30～12:00 「私の学校生活、そして、今」～人工呼吸器のユーザーとして～

岡部 彩 (元東京都立村山養護学校卒業生)

12:00～13:15 (昼食・休憩)

13:15～16:30 (午後の部 コース1～2)

【コース1 医学に関する講座】

センター棟403【定員60名】

～医療的ケアに関する事例検討～

医療的ケア全般に関する事例の検討を行い、その対応等について、講師の方から助言をいただきます。「困難な事例・困った事例」「工夫してうまくいった事例」「課題のある事例」等について、「実態」「経過」「直面している課題」「事例への質問事項」を記入し、事務局にメール等でお寄せ下さい。

講師 社会福祉法人慈恵療育会 相模原療育園 施設長 細田のぞみ

【コース2 医学に関する講座】

センター棟501【定員60名】

～人工呼吸器のケースと人工呼吸器について～

13:15～15:00 講義 「人工呼吸器を必要とする子どもたちの学校・地域生活を支える」

講師 ひばりクリニック 院長 高橋 昭彦

医療技術の進歩に伴い、人工呼吸器をつけた子どもたちがNICUを卒業して在宅に増えています。そうした子どもと家族を支援してきた経験や、これまで関わってきた事例を通じて人工呼吸器を必要とする状態とその適用についてお話ししていただきます。

15:15～16:30 ～講演及びデモンストレーション 人工呼吸器の機能と取り扱い～

人工呼吸器は多種多様ありますが、在宅や病院で見かけることの多い機種として、今回は、フィリップス・レスピロニクス社のトリロジーやカフアシストなどについて、そのメカニズムや使用の仕方、使用上の注意事項等を説明していただき、参加者に体験をしていただきます。

講師 フィリップス・レスピロニクス合同会社

8 申込み方法

- (1) はがき (往復はがき) 又はメールで、下記に申し込んでください。2日間の参加が原則です。
- (2) 記載事項 ①氏名 ②所属 ③連絡先住所 ④電話 (自宅又は所属先) ⑤第2日目のコース
⑥第1日目の「看護師の実践報告」の発表をして下さる場合は、テーマを書いて下さい。
※往復はがきの場合は、「返信」面に、ご自身の住所・氏名を書いてください。
- (3) 締め切り 申し込みの締め切りは、7月21日 (土) です。
- (4) 宛 先

①はがきの場合 187-0035 東京都小平市小川西町4-34-2

NPO法人地域ケアさぼーと研究所 下川 和洋

②メールの場合 ccsupport@jcom.home.ne.jp 下川 和洋 (題名に「看護師講習会参加申込み」と記入)

9 参加費の振り込み

参加費は、下記の三菱東京UFJ銀行の口座に、振り込んで下さい。振込期限は、7月24日 (火) です。

三菱東京UFJ銀行 成城学園前支店 (店番647)

普通 0044394

特別支援学校看護師研修推進協議会会長 三室秀雄 (ミムロ ヒデオ)

【問合わせ先】 飯野 順子 メールアドレス NBK10659@nifty.com

下川 和洋 メールアドレス ccsupport@jcom.home.ne.jp